

高純度バイオディーゼル「B30 燃料」を 大型造成現場の建設機械に使用する実証実験開始を決定

富士興産株式会社(本社 東京都千代田区 代表取締役社長 保谷尚登)は、株式会社鴻池組(本社 大阪市中央区 代表取締役社長 渡津弘己)、日立建機日本株式会社(本社 埼玉県草加市 代表取締役社長 廣瀬雅章)、株式会社建設技術研究所(本社 東京都中央区 代表取締役社長 中村哲己)、一般社団法人高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会(大阪府守口市 代表理事 星子桜文)と協力し、軽油代替燃料である高純度バイオディーゼル B30 燃料(Bio Diesel Fuel、以下 B30 燃料)を大型造成現場の建設機械の燃料として使用する実証実験を開始することを決定しました。

本実証実験では、軽油に高純度バイオディーゼル燃料*1を 30%混合した B30 燃料を使用します。B30燃料を施工現場で建設機械燃料として使用する実証実験を行うことは、建設業界初の取り組み(高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会調べ)です。本実証実験は、鴻池組が京都府京丹波町で施工中の株式会社京都環境保全公社(本社 京都市伏見区 代表取締役 鍋谷剛)の「瑞穂環境保全センター第三期保全計画埋立地工事」で、2023年4月から2024年3月までの1年にわたり実証実験を実施する予定です。

*1一般社団法人高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会が推奨する天ぷら油などの廃食用油を原料とし、従来のバイオディーゼル燃料に比べてエステル純度を 99.9%まで高めた「ReESEL」を使用します。

<実証実験の概要>

実証現場	瑞穂環境保全センター第三期保全計画埋立地工事(株式会社京都環境保全公社)	
実証期間	2023年4月～2024年3月の1年間を予定	
実験方法	油圧ショベルなどの建設機械で B30 燃料を 1 年間使用し、軽油との燃費比較、定期点検による使用機械への影響検証、排気ガスの分析による環境への影響検証	
各社の役割	株式会社鴻池組	B30 燃料を使用する建設機械の軽油との燃費比較
	富士興産株式会社	B30 燃料の製造、及び供給
	日立建機日本株式会社	B30 燃料による建設機械への影響検証 ※日立建機製品は軽油使用が保証対象ですが、今回は実証試験として協力いただくものです。
	株式会社建設技術研究所	B30 燃料による排ガスの環境影響検証

富士興産は、「お客様が必要とするエネルギーの安定供給と、エネルギーの効率使用や環境負荷の低減に資する商品の提供を通じ、よりよい社会づくりを支える企業でありたい」を長期ビジョンに掲げ、今中期経営計画(2021年～2023年度)では、低炭素・循環型社会の到来を見据えた事業環境の変化に対応するべく、次世代液体エネルギー供給企業への構造転換のスタート期と位置付けております。

その一環として、この度、関西地区では初となる、軽油と比較して CO2 排出量を約30%削減することが可能な「B30 燃料」の混和・供給を開始します。

バイオディーゼル燃料の原料である廃食用油は、エネルギーとして再利用可能な有限な資源でありながら、国内での再資源化が十分に行われていない状況にあることから、軽油と混和して B30 燃料とすることで、CO2 排出量の削減を志向するより多くの皆様に供給することは意義のあるものと考えております。

当社は、B30 燃料の供給を皮切りに、今後も環境負荷低減に資するエネルギーの供給を担い、低炭素化社会の実現に向けた取り組みに貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせなどは、下記担当部署宛にお願い致します。

富士興産株式会社 経営企画部 経営企画グループ
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町13番地
TEL:03-6859-2055
Mail:fk_sales@fkoil.co.jp

以 上